

Work with InterSystems,
Not separate systems.

InterSystems Ensembleによる
接続・連携可能なアプリケーションの開発

インターシステムズジャパン株式会社
〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-10-1
日土地西新宿ビル17F
InterSystems.co.jp

INTERSYSTEMS



アプリケーションベンダにとっての明るい未来

InterSystems
ENSEMBLE[®]



Ensembleは、非常に革新的な技術であり、先進的な業界アナリストにも認知されています。ガートナでは、Ensembleを「2007年度 コンポジットアプリケーションプロジェクトのためのアプリケーションインフラストラクチャに関するマジック・クアドラント」において、「リーダー・クアドラント」に位置付けました*。また、著名な医療IT調査会社であるKLAS社では、Ensembleを、インタフェースエンジン部門で2年連続1位にランク付けました**。

革新的なプラットフォーム

アプリケーションベンダにとって、InterSystems Ensemble® は、インテグレーションプラットフォーム以上の役割を果たし、「革新的」なプラットフォームとして、明るい未来を約束します。

Ensembleは、お客様のシステムやビジネスプロセスと連携して「接続可能な」新しいクラスのアプリケーションの開発を実現します。Ensembleを既存のアプリケーションに組み込むことによって、アプリケーションをリライトすることなく、現在の製品ポートフォリオを、統合されたスイート製品に変貌させ、アプリケーションの価値を高めます。

以下に、ソフトウェア会社がEnsembleを使って、どのようにアプリケーションとビジネス価値を高めたかについての事例を挙げます。

- 新聞出版ソフトウェアのリーディングプロバイダでは、Ensembleを彼らの主力製品に組み込み、顧客や潜在顧客にとって必須のアップグレードを行いました。Ensembleをベースとして開発された機能を使うと、新聞グループ企業は情報を自由に共有し、必要に応じてどんな形式でも、情報の提供が可能になりました。
- 信用組合向けの、核となる金融アプリケーションを提供しているソフトウェアベンダは、Ensembleを製品に組み込んでビジネスを活性化させました。ベンダはEnsembleのビジネスプロセス・オーケストレーション、ビジネスルール・エンジン、ワークフロー・エンジンや他の機能を使って、信用組合での運用業務がより効率的に運ぶようなコンポジット・アプリケーションを開発しました。
- 起業家の開発者たちが集まるあるグループでは、Ensembleを主要な開発環境、ランタイム環境に置き、サプライチェーン向けに効率的なWebベースの電子データ交換サービスを開発しました。Ensembleを使うと、Java環境でこのような複雑なソフトウェアを開発した場合に必要なリソースの1/5で済み、それがEnsembleの採用を決定した理由です。

Ensembleの、革新的な統一アーキテクチャを備えた包括的な技術により、新しい挑戦や機会への対応を、競合他社よりも迅速に行うことが可能です。

- お客様からの変更要望があった場合、より速く、より低い開発コストで接続可能なアプリケーションが簡単に開発可能であり、かつ新しいシステムとプロセスとの接続を迅速に実現。
- アプリケーションをリライトすることなく、自由に変更可能なワークフロー、ブラウザベースのユーザインタフェース、ルールに基づいたビジネスプロセス、ポータル、Webサービスや他の新しい機能を加えて、既存のアプリケーションを拡張する。
- ポートフォリオの異なるアプリケーションを、簡単に1つの統合されたスイート製品へ移行。
- プログラミングなしに、お客様自身が、ビジネスプロセスの変更や新規ビジネスプロセスに対応するよう、アプリケーション内のビジネスルールとワークフローを変更することが可能。

* [2007年 第2四半期 コンポジットアプリケーションプロジェクトのためのアプリケーションインフラストラクチャに関するマジック・クアドラント]
MassimoPezzini, Michael Barnes, Kimihiko Iijima, David Gootzit, Yefim V. Natis, Daryl C. Plumer, Jess Thompson, Dale Vecchio, Janelle B. Hill, Simon Hayward 共著2007年6月7日 (G00147640)
** KLAS Enterprise社による「医療情報システムユーザ調査」2007 Top 20 Year-End Best in KLAS Report™による。
(Top 20 Year-End in KLAS Report. ©KLAS Enterprises, LLC. All rights reserved.)

リライトすることなく、 アプリケーションを拡張する

Ensembleは、既存の開発プラットフォームや標準技術を使い、以下に挙げる機能を付加することにより、リライトすることなく既存のアプリケーションの拡張をすることができます。

- リッチなWebインターフェース
- 拡張可能なエンタプライズ・サービス・バス (ESB) 経由のメッセージング
- ビジネスルールに基づくプロセス
- ダッシュボード
- データ変換
- 変更可能なワークフロー
- Webサービスとサービス指向アーキテクチャ (SOA) を実現する技術
- ビジネス・アクティビティ・モニタリング (BAM)
- 標準的なアプリケーション、データベースや技術との、素早いインテグレーション
- ビジネス・プロセス・オーケストレーション

インターシステムズの高性能データベース InterSystems Caché® の先進的なオブジェクト技術を使うことによって、Ensembleは迅速なアプリケーションの開発環境、一貫したエンド・ツー・エンドの管理を備えた、最良のインテグレーション機能を提供します。Ensembleは、サービス指向アーキテクチャやイベント・ドリブン・アーキテクチャに基づき設計されているので、新しいビジネスソリューションの迅速な開発、展開に優れ、既存アプリケーションの機能を活用し、新しいビジネスプロセスを編成し、かつ企業全体に存在するデータを統合することが可能です。

Ensembleによって強化されたアプリケーションは、お客様の差し迫ったITの課題を解決し、アプリケーションベンダに競争力を与えます。

- WiFi対応のPDAや、他のモバイル用デバイスのような、多種多様な通信手段を通して、広範にアクセスが可能なアプリケーションや情報を構築
- 異なるソースから情報を収集し、単一の包括的なビューに集約
- ビジネスプロセスの自動化 (プロセス実行を管理するための、容易で自由に変更が可能なビジネスルールやヒューマンワークフローを含む)
- 複数のアプリケーションやデータベースを通して、データの一貫性を保持

成功事例

顧客にとって重要なビジネスプロセスを 獲得、編成する

課題：ソフトウェアベンダが、お客様の運用システムにおける戦略的役割を、再び獲得すること

革新的な点：コンポジット・アプリケーションの迅速な開発環境と、ルールベースのビジネスプロセス自動化機能を備えた、新しい製品を開発

信用組合は進化をし続けています。組合規約はより多様化し、提供するサービスの数も急増しています。結果として、これまで信用組合が核としてきたサービス (貯蓄と貸付) をサポートし、ソフトウェアを提供してきたベンダは、多様化の影響を受けて衰退しつつあります。USERS社の子会社であり、金融機関向けソフトウェアのサプライヤであるマエストロ・プロジェクト・グループ (MPG) は、Ensembleを導入することにより、信用組合との重要な信頼関係を取り戻し、新しいソフトウェアやサービスの売り上げを増やしています。

MPGのソリューションは、信用組合向けに標準化したコンポーネントを使ってEnsembleベースの統合プラットフォームを構築することでした。迅速なコンポジット・アプリケーションの開発環境や、ルールベースのビジネスプロセスの自動化機能といった、Ensembleの主要な機能を活用し、開発にかかる時間は増やさず、コストを抑えることに成功しました。ソリューションのコンポーネントは、Ensembleのグラフィカル・ルール・エディタの使用により、それぞれの組織の要件に合せたカスタマイズが簡単に行えます。要件が変わった場合は、追加費用の発生もなく、信用組合自身でルールを変更することが可能です。大半の顧客は口座開設プロセスの統合から開始し、次に他の問題点へと移っていきました。

「マエストロの顧客は、15分ではなく、5分で日常的処理業務を完了することができます。同時に、Ensembleのビジネスルールとワークフローにより、プロセスでは全ての手順が設計された通りに行われるので、エラーや不正行為のリスクも減少します。」

USERS社、CTO、ジェイ・カンブ氏
USERS社は、フォーチュン500社の1つであり、金融や証券業界に情報管理システムやサービスを提供している、Fiserv社の一部門です。

開発者と管理者の生産性を高める、Ensemble の革新性

Ensembleのユニークなシングルスタック・アーキテクチャは、接続可能なアプリケーションを開発するのに必要な技術を全て含んでおり、通常第一段階としてしなくてはならない、複数の開発環境とインテグレーションプラットフォームの統合を行う必要がありません。これまでの独立した技術を融合させ、単一で短いラーニング・カーブを実現し、市場投入の時間とコストを劇的に短縮します。同時に、コーディングすることなく、ビジネスプロセス定義、ルールやワークフローを使って、特定の業界や顧客に合わせて、アプリケーションを迅速に変更することができ、管理面でのオーバーヘッドを削減します。

迅速な開発技術を備えた インテグレーションプラットフォーム

開発者の生産性を高め、利益をもたらす：

異なるプログラミング・モデル、プログラミング・インタフェース、データ形式を、一貫性のあるオブジェクトで表現することにより、メッセージングからプロセス編成、そしてビジネス・アクティビティ・モニタリングまで、製品のあらゆる側面で、Ensembleの単一開発環境を使用することができます。統一されたグラフィカル、XML、コードベースの開発環境により、モデリングとビジネスプロセスの自動化が簡単にかつ素早く行うことができ、サービス指向開発による、迅速なコンポジット・アプリケーションの開発を可能にします。

J2EEや.NETなどの特定の基盤技術向けに特化した製品とは異なり、Ensembleは両方を同様にサポートしています。また、簡単に拡張が可能なため、将来のオブジェクトモデルや技術フレームワークにも対応します。このアプローチにより、インテグレーションにかかる膨大な労力、大量のミドルウェアの投入や、既存システムのリプレースコストも必要なく、アプリケーションを顧客のIT基盤に組み込むことが可能です。

コンポジット・アプリケーション：異なる開発、統合技術をベースとした複数のシステムを組み込むようなプロジェクトでは、Ensembleの利点がより明らかになります。Ensembleのオブジェクト・テクノロジーとレポジトリは、ソリューションにおける様々なシステム、アプリケーション、サービスに、一貫した統一ビューを提供します。Ensembleのメッセージング、ビジネス・ルール・プロセス、ワークフロー、アラート機能、そしてリアルタイムのビジネス・アクティビティ・モニタリング(BAM)により、お客様のコンポジット・アプリケーションをシンプルにすることができます。

エンタプライズ・サービス・バス (ESB) /メッセージング：Ensembleの包括的で一貫したアーキテクチャは、メッセージング、もしくは、複雑な統合開発プロジェクト完了のまでの時間を短縮することのできる、画期的なものです。また、疎結合やサービス指向のソリューションに係わる管理のオーバーヘッドを劇的に縮小します。

Ensembleのエンタプライズ・サービス・バス (ESB)の優れた利点は、高パフォーマンスと既に展開したソリューションの高信頼性、開発・管理の高生産性を実現することです。例えば、要求事項の多い医療市場では、アプリケーションの統合プロジェクトは、Ensembleを使った場合、他製品と比べ約3倍早く完了し、メッセージング・プロセスは約2倍速かった、との報告が出ています。

ビジネスルール： Ensembleのエンタプライズ・サービス・バスを使って開発された統合システムには、ビジネス・アナリストやサポート要員といったプログラマを必要としません。Ensembleのルールエンジンにより、メッセージ・ルーティングの設定、変更や、ルールのフィルタリングが、数分で行えます。これにより、変更にかかるコストを抑え、バックログを減らし、価値をすぐさま享受でき、プログラマが新規プロジェクトに集中できるようになります。

サービス指向アーキテクチャ (SOA)： EnsembleではWebサービスの構築、利用の両方が可能です。構築側としては、レポジトリ内に存在する機能全てをWebサービスとして表現します。また、利用側としては外部のWebサービスを特定し、オブジェクト表現をレポジトリ内に保存します。レポジトリでは、ローカルに存在する機能と同じ位容易に、外部Webサービスをソリューション内に組み込み、管理しています。

成功事例

開発と統合の融合

課題：非常に複雑なIT環境において、配備に必要なインテグレーション技術に捉われず、優れたソフトウェアを開発することに、開発リソースを集中する

革新的な点：InterSystems Ensembleを使った、迅速なアプリケーション開発と統合

病院向けのソフトウェアソリューションと統合医療ネットワークの分野において、リーディングベンダであるクアドラメッド社は、広範に渡る臨床、収益サイクル、医療情報管理システム (HIM)、エンタープライズ・スケジュールアプリケーションを提供しています。Ensembleは、クアドラメッド社の製品戦略において、基盤的な役割を果たしています。当初、クアドラメッド社はEnsembleを、同社のSmart Identity eXchangeのプラットフォームに使っていました。Smart Identity eXchange は、統合医療ネットワーク、地域医療情報組織 (RHIO)、そして医療情報交換向けのEMPI (エンタープライズ・マスターペイシエント・インデックス)であり、複数エントリを連携するためのID管理(患者識別)ソリューションです。

Ensembleにより、クアドラメッド社は、核となるビジネスロジックの迅速な開発に注力し、Smart Identity eXchangeを強力な製品として開発し、市場に早く出すことができました。Ensembleを使って、メッセージングの運用、ビジネスプロセスの編成、ルールのプロセス化、アラート管理、顧客の環境下での他のアプリケーションやデータベースとの統合、Webサービスとしてのアプリケーションを公開するなどを、行っています。Ensembleは、高パフォーマンスで信頼性が高いアプリケーションをサポートする、単一の統合された開発、インテグレーション、ランタイム環境を提供する点で、クアドラメッド社の技術者はEnsembleを高く評価しています。

「Ensembleはクアドラメッド社にとって、戦略的なプラットフォームです。新しいソリューションをより迅速に構築し、顧客のビジネスプロセスを合理化し、また顧客の現場での組み込みと統合作業を速めます。」

クアドラメッド社、エグゼクティブVP、CTO、ジム・クライン氏

エンド・ツー・エンドの管理

企業全体に渡る統合ソリューションは、複数のハードウェアプラットフォームやOS、技術フレームワークを横断して多種多様なアプリケーションのコンポーネントと接続する必要があるため、最も管理が難しいシステムです。Ensembleに予め備わっている、一貫性のある永続メッセージ・レポジトリとルールエンジン、適切に設計された使い勝手の良い管理ポータルは、管理と維持にかかるコストを抑え、プロジェクトの価値を高めます。

Ensembleには、ソリューション全体に流れるメッセージ内容や、ソリューション自体の稼働を計る統計情報に含まれるメッセージをレポートし、分析する機能が備わっています。メッセージ・レポジトリ、管理レポート、またグラフィカルなトラブルシューティングツールにアクセスすることで、Ensembleベースのソリューションは常に使用可能な状態に保たれます。

不自然に組み合わせられたスイート製品ではなく、単一の技術スタックにより高度な機能を提供するため、Ensembleをベースとしたシステムの管理は、他に類を見ないほど首尾一貫しており、効率が良いのです。

信頼性と質の高いサービス：情報システムでの、データの損失や、それに関するコストは許されません。そして、それにかかるコストも許されません。重要なデータが必要な時に利用できないという事も同様です。Ensembleの高パフォーマンスで一貫したメッセージ・レポジトリは、迅速で信頼性の高いメッセージングを保証します。完全なデータを確保し、重要な情報は、即時にいつでも利用可能であることを保証することで、サービスの質を高めます。またメッセージを再送し、システムをチェック、テストにかかる時間や、問題を特定するためにアプリケーションの技術専門家が関わる費用を抑えることができます。

トラブルシューティング：Ensembleには、直感的に使えるブラウザベースのエンド・ツー・エンドのコンフィグレーション、管理機能が備わっています。これらの機能により、問題点の特定、切り分け、解決が安全な環境にある中央コンソールから行うことが可能です。Ensembleのビジュアル・トレース、グラフィカル・ダッシュボードとアラートメカニズムにより、現在の問題や潜在的な問題を直ちに発見することができます。また、素早く問題点の解析、修正を行うことで、システムダウンタイムによる高いコストを防ぐことができます。

セキュリティ：Ensembleは、拡張されたアプリケーションや統合システムに、稼働を妨げることなく、強固なセキュリティを提供します。Ensembleの4つのセキュリティレベルには、以下のようなものがあります。

- LDAP (ライトウェイト・ディレクトリ・アクセス・プロトコル)、Kerberos、OSによるログイン認証、Ensembleのネイティブログイン方式を含む、複数モデルによる認証
- ロール・メンバーシップに基づいた認証
- カスタマイズ可能なタンパー・レジスタントログによる、情報監査
- データはレポジトリ内で、また他のファイルはAESアルゴリズムや256バイトキーによる暗号化。SSLもしくはTLS方式にて動作中での暗号化が可能

成功事例

迅速なアプリケーション開発とカスタマイズ

課題：各金融機関における異種データベース、レガシ・アプリケーション、CRMシステムを接続し、運用するためにカスタマイズが必要、また、ローン受付や処理用アプリケーションの展開が遅延

革新的な点：プログラミングではなく、コンフィグレーションにより迅速なカスタマイズを実現

このアプリケーションは、業界ではベストクラスのアプリケーションの一つでした。しかし、期待通りの営業利益は得られていませんでした。何が原因だったのでしょうか？フォーラム・ソリューションズのTAPS Lendingアプリケーションの問題は、展開に時間がかかる点でした。全ての販売において、フォーラム社は、アプリケーションのカスタマイズをして、顧客が使う既存システムとの連携をさせる必要があったのです。TAPSを異なるシステムと連携させるソリューションとして、フォーラム社は、Ensembleを選びました。Ensembleの統一された開発環境により、ビジネスルール・エンジン、XMLベースのグラフィカルなデータ変換、広範囲なシステムへの接続、そしてメッセージング等の機能を付加し、フォーラム社は迅速にTAPSを強化しました。それにより、導入にかかる時間を33%も削減し、顧客のコストを抑えただけでなくフォーラム社自身も新規顧客を獲得し、利益につなげました。

「Ensembleでは、全てが一つの環境に集約されています。それにより、従来よりはるかに迅速に開発することができます。」

フォーラム・クレディ・ユニオンの子会社、フォーラム社COO、キャメロン・ミンゲス氏 (TAPS Lendingは、現在 Akcelarent Software LLC の製品です)





Ensembleのアーキテクチャ

概念的に述べると、Ensembleは、SQL準拠の高性能オブジェクト・レポジトリ、オブジェクト抽象化機能、エンタプライズ・サービス・バス、開発と管理技術といったコアの機能の上に構築されたレイヤード製品です。実質的には、Ensembleは一貫したユーザインタフェースと、短いラーニング・カーブをもった、単一の統合された技術です。

Ensembleのユニークな点は、ビジネスプロセス管理機能と、インテグレーションおよび開発機能が、シームレスに統合された1つの完全なセットであるという点です。この高度な融合により、接続可能なアプリケーションや、コンポジット・アプリケーション開発が、スタンドアロンのアプリケーションの開発と同じように自然に開発することができます。複合や編成、ワークフロー、ユーザ自身で変更可能なビジネスルール、ポータル、そしてビジネス・アクティビティ・モニタリング機能は、ユーザの開発スキルの中に、ごく自然に開発に取り込まれます。Ensembleを使うと開発者は、差別化できる優れたビジネスロジックの開発に注力できます。Ensembleが、開発したアプリケーションをお客様のビジネスプロセスに合せる部分を請け負うからです。プロセスが変更された場合も、お客様自身でEnsembleのビジネスルールと他の構成設定ツールを使って、変更への対応が可能であり、開発会社は、アプリケーションのコードに変更を加える必要はありません。

Ensembleの機能とパフォーマンスの根底にあるものは、オブジェクト抽象化機能と、組み込まれている高性能オブジェクト・レポジトリです。抽象化技術により、統合されたシステムの一部にある元々のインターフェースやデータの性質、種類、複雑さを、排除します。オブジェクト・レポジトリは統合されたシステムに流れる全てのメッセージに永続性を与えます。また、トランザクション、イベントログやトレース機能、高パフォーマンスのビットマップ・インデックスによるデータ抽出機能もサポートしています。レポジトリは、Ensembleの高速なメッセージ処理、管理、またソリューションのコンポーネントを再利用するために非常に重要な役割を果たします。

成功事例

エンタプライズデータの「サイロ」から情報を開放

課題： ニュース配信企業の多種多様なソースから透過的な情報フローを作り出し、異なる媒体や形式で提供する

革新的な点： インテグレーション機能を使い、新聞発行用アプリケーションを強化

デジタル・テクノロジー・インターナショナル (DTI社)は、新聞出版ソフトウェアのリーディング企業で、近代ニュース配信ビジネスにおいて、彼らのクライアントを支援することをその使命としています。このことは、既に紙とインクをはるかに越えているということを示しています。DTI社のクライアントは、多様なソースから情報を引き出し、異なるメディアを通して配信しています。DTI社は、Ensembleを使って彼らのアプリケーションを強化することで、問題への解決策を見出しました。

結果的に、Ensembleの接続機能、オブジェクト・テクノロジー、データ変換機能を利用した、Liquid Media (リキッド・メディア)という新しい出版ソリューションが作り上げられました。Liquid Mediaは、一つの企業グループが出版する様々な新聞において、複数のデータベースや情報ソースから情報を引き出し、新聞から携帯電話に至るまで、多種多様な情報提供システムの形式に合わせて、正しいフォーマットへ自動的に変換します。また、既存システムのサイロに閉じ込められたデータを、データフォーマットを標準化する必要もなく、解放します。Ensembleによってソリューションが強化されたことで、ソフトウェアベンダにとって、ビジネスを発展させるための新しい機会が開けたのです。

「Ensembleを得てDTI社は、驚くほど短期間で、全てのクラスで最新で接続可能なアプリケーション開発をすることができました。」

DTI社 エンジニアリング担当副社長 バイロン・オールドハム氏

新たなレベルの成功に、素早く押し上げる

日々ビジネスには、成長のために、変化する既存顧客の要求を満足させ、競合からの脅威をかわし、新規顧客を獲得するといったプレッシャーがつきまといます。Ensembleは革新的なソリューションを迅速に提供し、ビジネスをさらに高いレベルに引き上げます。

Ensembleの技術、およびビジネス面での利点は以下の通りです。

- アプリケーションのコード作成や、顧客特定のインターフェースを開発することなく、新規ユーザや市場の要求に応える
- 特定の市場や顧客向けのビジネスプロセス定義、ルール、ワークフローでアプリケーションを迅速に最適化し、高い顧客満足を獲得
- 素早いインプリメンテーション
- アプリケーション機能を自動的にサービス化することができ、SOAの世界において、競合することが可能
- 容易な管理
- ハイ・リターンの開発投資

Ensembleで強化されたアプリケーションで鍵となる主要なビジネスプロセスを獲得し、編成することにより、アプリケーションベンダは、お客様の中での戦略的なポジションを得ることができます。さらにお客様は以下のもので得ることができます。

- 複数のインフラ技術をサポートするITの柔軟性
- アプリケーションを、複数のビジネスプロセスに迅速に組み込み可能
- アプリケーション統合にかかる時間と労力、といったTCOが劇的に減少する
- Ensembleのビジネス・アクティビティ・モニタリング(BAM)とビジネス・インテリジェンス(BI)機能で、ビジネスプロセスをより的確に掌握可能
- Ensembleのブラウザベースのインターフェースで、アプリケーションへのアクセスが容易

成功事例

新規ビジネスの機会を迅速に創出

課題：迅速で柔軟性があり、コスト効果が高く、無理のない方法で、取引パートナーを電子サプライチェーンに移行（パートナーが、IT化されていない場合においても）

革新的な点：ビジネスデータの、あらゆる通信を迅速に自動化するSaaSを開発、展開

英国に拠点を置く統合サービスプロバイダであるOmPromptの創始者は、間もなくやってくるサプライチェーンアプリケーションの電子データ交換(EDI)に対応することに、ビジネス機会を見出していました。実際に EDI を使用しているのはわずか 30%という潜在市場で、OmPrompt は残りの 70% で EDI が成長する大きな市場機会があると見ていました。この市場で最も頻繁に使われる通信手段は、音声、FAX、集計表、フラットファイル等で、送信者と受信者の間でのデータフォーマットの紐付けを、手動で行っており、大きな労力を要していました。

OmPromptはEnsembleを使って、特許を持つメッセージ分析および分類テクノロジーを開発しました。OmPromptソフトウェアは、人工知能技術を採用して、パートナーからのサンプルメッセージ（データ、音声、またはファックス）を分析し、実際のデータの保持と操作を行うために、対応する Ensembleストラクチャを生成します。このテクノロジーは、新しいメッセージタイプの認識および自動処理を支援するため、派生したすべてのメッセージストラクチャの参照データベースをEnsemble内に生成します。このソリューションは、顧客間のばらつきを解決するためにEnsemble のルールエンジンおよびビジネスプロセス・オーケストレーション機能を利用し、インターネットベースのサービスとして提供されています。

「Ensemble を使用することで、当社のすべてのリソースに制限があるときでも実行できる完全なアプリケーションを開発することができました。Javaで同等のソリューションを開発するには約 5 倍のリソースが必要になったと思われます」

OmPrompt CEO, ブライアン・ポーラム氏

Ensemble ハイライト

拡張可能なエンタプライズ・サービス・バス(ESB)

- 発行/受信設定、イベント駆動型、コンテンツベースのルーティング機能をもつ、高速で信頼性の高いソリューション
- 拡張可能なルールエンジンと、グラフィカル・ルール・エディタをもつインテリジェント・メッセージング・ルーティング
- ビジネス・アクティビティ監視(BAM)のために、ライブおよび処理済みのいずれのメッセージにもリアルタイムでアクセス可能、また長期ビジネス・プロセスに対する高い信頼性と復元能力

SQL対応の組み込みオブジェクト・データベース

- トランザクショナル・ビットマップ・インデックス機能により、ライブおよび処理済みのいずれのメッセージにもリアルタイムでアクセス可能。また、ビジネス・アクティビティ・モニタリング(BAM)、監査、SQLベースのレポート、および管理を実現
- 長期ビジネス・プロセスに対する高い信頼性、高い復元能力、高性能
- メッセージとメタデータの共有リポジトリを備え、高速統合、迅速な開発、容易な管理、高い拡張性を実現

先進的な抽象化テクノロジー

- 異なるプログラミング・モデル、データ形式に、一貫した効率の良いオブジェクト表現を提供
- ロジックとデータを強力に抽象化し、コンポジット・アプリケーションの迅速な開発を実現
- 最新の開発ツールと技術を使い、レガシなデータや機能にアクセスし、.NET、J2EEコンポーネント、Webサービスとして再利用が可能。かつ、将来のオブジェクトモデルや技術フレームワークに、簡単に拡張も可能

迅速な統合と開発環境

- 既存のデータと機能を活用するコンポジット・アプリケーションを、迅速にかつサービス指向型として開発可能
- ビジネス・アナリストと開発者に対し、ビジネスプロセスのモデリングと自動化を簡素化および迅速化
- グラフィカル、XML、コードをベースにした開発方法の組み合わせと選択により、多様なインテグレーションシナリオに対応

データ変換

- 変換ウィザードとグラフィカル変換エディタによって、ラーニング・カーブを短縮し、データ変換を迅速化
- 変換では、内部または外部のデータ・テーブルで単純なフォーミュラやルックアップが使用可能
- プロジェクト全体の完了を待たずに変換をテストできる、ユニット・テスト・サービス

ビジネスプロセス編成

- グラフィカル・モデリングにより、開発者またはビジネス・アナリストが、テクノロジーでなく、ヒューマンワークフローを含むビジネスプロセスに注力可能
- グラフィカル、XMLドキュメント、コードなど、同期化されたインテグレーションアプローチの組み合わせと選択により、多様な統合プロジェクトに効率的に対応
- 任意の期間のビジネスプロセスの状況の編成、保持が可能

ビジネス・ルール・エンジン

- ビジネス・アナリストやサポート担当者は、実行中のビジネスプロセスにおける意思決定ポイントの構成や変更が迅速に可能
- 開発者を、古いプロジェクトの変更から解放し、新しいプロジェクトに専念させることが可能
- ルールはビジネスロジックと切り離され、他のEnsembleオブジェクトと同じくらい簡単に再利用と変更が可能

ビジネス・アクティビティ・モニタリング(BAM)

- 組み込まれたデータベースに格納されたメッセージとメタデータを活用し、ビジネスプロセスとシステム・パフォーマンスにある運用上の問題点を把握
- ビジネス・イベント、および重要なパフォーマンス指標の変化をすぐに認識可能
- グラフィカル・ダッシュボードの表示により、適切かつタイムリな経営上の意思決定をサポート

変更可能なワークフロー・エンジン

- どのビジネスプロセスでもワークフロータスクの再利用が簡単
- さまざまな地域、技術、部門にわたる複雑な手作業のやり取りを、コンポジット・アプリケーションに簡単に組み込み可能
- ユーザベースのプロセス定義をビジネスプロセスから切り離すことによって、より簡単に信頼性の高い開発を実現

アダプタ・ライブラリとフレームワーク

- 購入後すぐに、広範なアプリケーション、サービス、データソース、テクノロジーとの間で接続とデータ変換が可
- Ensembleの開発環境、オブジェクト継承、SOAPサービスを使用して、既存のアダプタの拡張や新アダプタを素早く作成することが可能で、必要な開発作業を最小限に抑える
- すべてのアダプタが、シンプルで一貫性のある統合、信頼性の高い運用管理のための共通機能を共有

標準サポート

- XML、SOAP、Webサービスや他の標準メッセージ形式、また医療規格であるHL7やX12、金融サービス、通信分野等、多くの業界における規格を広範囲にサポート
- 同じ規格をサポートする他のシステムとの相互運用が可能
- 他のプロジェクトで同じ規格を使用して、開発者が身につけたスキルを最大限に活用

エンド・ツー・エンドの管理

- ビジネスプロセスとシステム・パフォーマンスをリアルタイムで表示
- Visual Traceを使って、開発時と運用中における問題を迅速に診断し、デバッグ
- 監査および他の管理ニーズのために、SQLツールを使って照会し、メッセージ・ウェアハウスからカスタム・レポートを生成

Ensembleの更なる詳細情報や、オンラインデモンストレーションは、インターシステムズのウェブサイトにてご覧いただけます。

InterSystems.co.jp/ensemble

InterSystems Ensemble®とInterSystems Cache®は米国インターシステムズ社の登録商標です。その他の製品名は、該当各社の商標または登録商標です。

Copyright©2008 InterSystems Corporation. All rights reserved.